

男性脱毛症（AGA）・女性脱毛症（FAGA） 治療利用実態調査レポート【2026年版】

— 経験者142名のアンケート調査から見るAGA治療の実態とクリニック選定の判断軸 —

調査主体	ヘアケアクリニック編集部
調査方法	インターネット調査
調査期間	2026年1月1日～2026年1月31日
調査対象	AGAまたはFAGA治療経験のある男女
有効回答数	142件（男性115件／女性27件）

※本データは個人が特定されないよう匿名化処理を行っています。

近年、男性脱毛症（AGA）や女性脱毛症（FAGA）に対する認知が広がり、薄毛や抜け毛に悩んだ段階で早期に治療を検討する人が増えています。一方で、治療を始めるにあたって「本当に効果はあるのか」「費用はどのくらいかかるのか」「どのクリニックを選べばよいのか」といった不安や疑問を抱えたまま、判断に迷っている方も少なくありません。

本レポートは、実際にAGAまたはFAGA治療を経験した男女142名を対象に実施したアンケート調査の結果をもとに、治療を始めたきっかけ、治療前に感じていた不安、クリニック選びで重視されたポイント、治療内容やオンライン診療の利用状況、そして治療の継続率や中断理由に至るまで、AGA・FAGA治療の「実態」を多角的に分析したものです。

本調査結果が、これからAGA・FAGA治療を検討する方にとって、自分に合った治療方法やクリニックを選ぶための客観的な判断材料となれば幸いです。

■ データの出典について

本レポートに掲載しているすべての数値は、同調査で取得したアンケートRAWデータ（全142件）をもとに、編集部にて再集計・分析した結果です。

元データとなるアンケートの一次データ（匿名化済み）は、別途公開しており、誰でも内容を確認できる形で提供しています。集計にあたっては、回答の欠損や重複を除外し、設問ごとに有効回答数を分母として算出しています。

データ出典：[一次データ公開 | 男性脱毛症（AGA）・女性脱毛症（FAGA）治療利用実態調査【2026年版】RAW DATA-ヘアケアクリニック](#)

概要

- AGA・FAGA治療は男女ともに30代から高い割合。男性は40代が最も多く、女性は40代から50代にかけて治療を受けている

- 治療を始めた時の薄毛の自己評価では、頭頂部が気になるが4割を占めており、鏡を見て気になって治療を始めた人は7割と自己自認で治療を始める人が多い
- AGA・FAGA治療をするクリニックを選ぶ際には7割が治療費が安いかどうかで選んでいる
- AGA治療経験者の約80%が治療を継続している
- 一般的に効果が現れる目安とされる6ヶ月以降に大多数の回答者が効果を明確に実感し、特に1年以上の長期的な継続が最も高い満足度につながる
- 1~3ヶ月で62%が抜け毛が減ったことを実感したと回答した
- 治療中断理由の1位は「費用が高く続けられなかった」
- 月額10,000円未満で治療している人が約75%
- オンライン診療利用者は全体の約77%

AGA・FAGA治療経験者の男女別 年齢層の割合調査

当調査では20~60代を対象に、AGAまたはFAGAの治療経験のある男女に対しアンケートを行いました。

性別ごとの年齢層の割合は以下の通りです。

	男性 (N)	男性 (%)	女性 (N)	女性 (%)
20代	8	7.0	2	7.4
30代	39	33.9	10	37.0
40代	43	37.4	8	29.6
50代	17	14.8	6	22.2
60代以上	8	7.0	1	3.7
合計	115	100.0	27	100.0

男性の年齢層は、30代（33.9%）と40代（37.4%）がボリュームゾーンとなっており、回答者の約7割を占めました。一方女性の年齢層も30代（37.0%）の割合が最も高く、次いで40代（29.6%）が多いですが、50代（22.2%）も男性と比較して高い割合となっています。

男女間の傾向として、**30代では男女ともに高い割合**を示していますが、**男性は40代**が最も多く、**女性は40代から50代**にかけても幅広い年代で治療を受けている傾向が見られました。

AGA・FAGA治療を始めた時の薄毛の状態の自己評価の割合

AGA治療・FAGA治療を始めた時の薄毛の状態の自己評価について、回答の割合は以下の通りです。

Q.治療を始めた時の薄毛の状態の自己評価はどれですか？

	回答数 (N)	割合 (%)
頭頂部が気になる	58	40.8
生え際が後退している	37	26.1
全体的にボリュームが減った	27	19.0
部分的な薄毛が気になる	14	9.9
まだ気にならないが予防目的	6	4.2
合計	142	100.0

治療開始時、最も多かった自己評価は「頭頂部が気になる」で、全体の4割以上（40.8%）を占めています。

次いで「生え際が後退している」（26.1%）、「全体的にボリュームが減った」（19.0%）が続き、**多くの方が薄毛の特定の部位や全体的な髪質の変化を認識して治療を始めています。**

「まだ気にならないが予防目的」で治療を開始した方は4.2%でした。

AGA・FAGA治療を検討したきっかけの割合

AGA治療を検討したきっかけについての各回答の割合は以下の通りです。

Q.AGA治療を検討したきっかけは？(複数回答)

きっかけ	回答数(N)	割合(%)
鏡を見て気になった	105	73.9
家族や友人に指摘された	33	23.2
ネットやSNSで情報を見た	30	21.1
予防目的	15	10.6
美容院・理容院で指摘された	11	7.7
病院で相談した	5	3.5

※分母は全回答者数142名として割合を算出

AGA・FAGA治療を検討する最も大きなきっかけは「鏡を見て気になった」であり、回答者の**7割以上（73.9%）が自己認識から検討を始めています。**

また、「家族や友人に指摘された」も2割以上（23.2%）を占めており、身近な人からの言葉も治療検討の重要なトリガーとなっていることがわかります。

「ネットやSNSで情報を見た」（21.1%）も多く、オンラインでの情報が治療検討のきっかけになっていることが示されています。「予防目的」での検討も1割以上（10.6%）見られました。

AGA・FAGAの治療開始前の「不安」に関する意識調査

AGA治療を考え始めた時に「最も不安だったこと」の各回答の割合は以下の通りです。

Q.AGA治療を考え始めた時、不安だったことは？(複数回答)

	回答数(N)	割合(%)
効果が本当にあるのか不安	83	58.5
費用が高いかもしれない	80	56.3
副作用が心配	61	43.0
どのクリニックを選べばいいかわからない	27	19.0
継続が必要で負担が大きいかもしない	20	14.1
周囲にバレるのが嫌だった	12	8.5

※分母は全回答者数142名として割合を算出

「効果が本当にあるのか不安」（58.5%）と「費用が高いかもしない」（56.3%）が、回答者の半数以上から選ばれており、効果と費用が**治療を検討する上での二大懸念事項**であることがわかりました。

一方で、「副作用が心配（性機能低下・肝機能への影響など）」も4割以上（43.0%）に上り、治療効果や費用に次いで、身体への影響に対する不安が大きいことも挙げられます。

「どのクリニックを選べばいいかわからない」（19.0%）や「継続が必要で負担が大きいかもしない」（14.1%）といった、具体的な行動や経済的な負担に関する不安も一定数見られました。

また、「周囲にバレるのが嫌だった」（8.5%）に関しては他の項目より低い傾向にあり、大きな懸念となりづらいことがわかります。

AGA・FAGAクリニックを選ぶ際に重視した項目

AGA治療クリニックを選ぶ際に重視したポイントについての各回答の割合は以下の通りです。

Q.クリニックを選ぶ際に重視したポイントは？（複数回答）

重視したポイント	回答数 (N)	割合 (%)
治療費が安いこと	98	69.0
効果がある治療を受けられること	88	62.0
自宅から通いやすい・立地がいいこと	60	42.3
オンライン診療に対応していること	55	38.7
専門の知識・経験が豊富な医師がいること	50	35.2
医師の対応・カウンセリングが丁寧であること	34	23.9
予約が取りやすい・待ち時間が少ないこと	33	23.2
プライバシーが守られていること（完全個室・個室風など）	30	21.1
知名度・実績があること	28	19.7
診療時間が遅くまで対応している・土日祝も診察していること	22	15.5
口コミ・評判が良いこと	18	12.7

※分母は全回答者数142名として割合を算出

最も重視されたのは「治療費が安いこと」で、約7割（69.0%）が選択しており、経済的な負担が大きな決定要因であることがわかります。

次いで「効果がある治療を受けられること」（62.0%）が重要視されており、治療の確実性も強く求められています。

「自宅から通いやすい・立地がいいこと」（42.3%）や「オンライン診療に対応していること」（38.7%）など、アクセスや診療のしやすさといった利便性が4割近くの回答者に重視されています。

また、「専門の知識・経験が豊富な医師がいること」（35.2%）も3人に1人以上が重視しており、専門性も重要な判断材料となっています。

「医師の対応・カウンセリングが丁寧であること」（23.9%）や「プライバシーが守られていること」（21.1%）といった、クリニックのサービスや安心感に関する要素も2割前後で重視されています。

一方で、知名度・実績（19.7%）や口コミ評判（12.7%）といった評価は、価格や利便性と比

べ重視されない傾向があります。

また、自宅からの距離（42.3%）は重視される傾向にあるものの、夜間診療や休日診療（15.5%）は比較的重視されないことがわかります。

AGA・FAGA治療における対面診療・オンライン診療の選択割合と理由

AGA治療において、対面診療とオンライン診療のどちらを利用したかという質問に対する回答は、以下の通りです。（分母：全回答者 N=142）

Q.対面診療とオンライン診療のどちらを利用しましたか？

利用方法	回答数 (N)	割合 (%)
オンライン診療のみ	99	69.7
対面診療のみ	33	23.2
併用している	10	7.0

回答者の約7割（69.7%）がオンライン診療のみを利用しており、利便性の高いオンライン診療がAGA治療・FAGA治療の主要な手段となっていることがわかります。

オンライン利用者は約8割：「オンライン診療のみ」と「併用している」を合わせると、**76.7%（109名）と約8割がオンライン診療を利用**しています。

一方で「対面診療のみ」と「併用している」を合わせると、**30.2%（43名）が対面診療を利用**しています。

対面診療を選んだ理由 (Q10-1)

対面診療を利用した方（「対面診療のみ」または「併用している」と回答した方、N=43）が、対面診療を選んだ理由の割合は以下の通りです。（複数回答）

理由	回答数 (N)	割合 (%)
医師と直接話したかった	15	34.9
対面の方が安心できる	12	27.9
検査や診察をしっかり受けたかった	10	23.3
クリニックの雰囲気を知りたかった	6	14.0

対面診療を選んだ理由として、最も多く選ばれたのは、「**医師と直接話したかった**」で、約**35%**を占めています。

これは、オンライン診療が主流となる中でも、医師との直接的な対話による安心感や詳細な情報共有を求めるニーズが高いことを示しています。

また、「対面の方が安心できる」（27.9%）や「検査や診察をしっかり受けたかった」（23.3%）も高く、**治療に対する納得感や身体的な安全性を確保するため**に、対面での診断・診察を重視している利用者が多いことがわかります。

オンライン診療を選んだ理由 (Q10-2)

オンライン診療を利用した方（「オンライン診療のみ」または「併用している」を選択した方、N=109）が、オンライン診療を選んだ理由の割合は以下の通りです。（複数回答）

理由	回答数 (N)	割合 (%)
通う手間がなかった	82	75.2
周囲にバレにくい	47	43.1
価格が安かった	45	41.3
対面の方が安心できる	28	25.7
オンライン診療は選んでいない	27	24.8
医師と直接話したかった	22	20.2
検査や診察をしっかり受けたかった	20	18.3
対面と効果が変わらないと思った	7	6.4
クリニックの雰囲気を知りたかった	7	6.4

オンライン診療を選んだ最も大きな理由は「**通う手間がなかった**」で、**利用者の4分の3以上 (75.2%)** が選択しており、時間や場所の制約を受けない利便性が圧倒的に評価されています。

また、「周囲にバレにくい」(43.1%) と「価格が安かった」(41.3%) が4割を超えており、プライバシー保護と経済的なメリットが、オンライン診療を選ぶ上での重要な決定要因となっています。

併用しているを回答した利用者のうち、「対面の方が安心できる」(25.7%) や「医師と直接話したかった」(20.2%) といった、対面診療を選ぶ理由と想定される項目も一定数選ばれており、オンライン診療の利便性を享受しつつも、対面診療に対する潜在的なニーズや安心感を求める意識が存在していることが示唆されます。

AGA・FAGA治療で内服している治療薬種類

AGA治療で実際に受けた治療内容についての各回答の割合は以下の通りです。

Q.. 実際に受けた治療内容を教えてください。 (複数回答)

治療内容	回答数 (N)	割合 (%)
フィナステリド（プロペシア・ジェネリック）	99	69.7
ミノキシジル（内服）	75	52.8
ミノキシジル（外用薬）	40	28.2
デュタステリド（ザガーロ・ジェネリック）	21	14.8
成長因子注入治療（メソセラピー）	19	13.4
サプリメント	18	12.7
専門外来の治療は受けていない	4	2.8
植毛術	2	1.4
AGA以外の治療・発毛剤を使用	1	0.7
その他	4	2.8

※分母は全回答者数142名として割合を算出

最も多く受けられている治療は、男性型脱毛症（AGA）や女性型脱毛症（FAGA）の治療薬である「フィナステリド（プロペシア・ジェネリック）」で、**回答者の約7割 (69.7%)** が利用しています。

また、脱毛の進行抑制に加え、発毛効果も期待される「ミノキシジル（内服）」が半数以上（52.8%）に利用されており、多くの回答者がフィナステリドとの併用治療を受けていることが示唆されます。

ミノキシジルの外用薬も3割弱（28.2%）に利用されており、内服薬以外の選択肢も一定数選ばれています。

AGA・FAGA治療の治療期間と効果実感の相関

治療開始からの経過期間と効果の実感度との相関を分析しました。

以下の表とグラフは、治療期間が長くなるにつれて、回答者が効果をどのように実感しているかの割合を示しています。

Q.治療開始からどのくらい経過しましたか？

Q.効果の実感度を評価してください

経過期間	全く効果を感じていない(N)	あまり効果を感じていない(N)	普通(N)	効果を感じた(N)	とても効果を感じた(N)
1ヶ月未満	0.0%(0)	66.7%(2)	0.0%(0)	0.0%(0)	33.3%(1)
1~3ヶ月	0.0%(0)	13.8%(4)	17.2%(5)	62.1%(18)	6.9%(2)
3~6ヶ月	0.0%(0)	8.1%(3)	18.9%(7)	64.9%(24)	8.1%(3)
6ヶ月~1年	0.0%(0)	3.2%(1)	3.2%(1)	87.1%(27)	6.5%(3)
1年以上	4.8%(0)	4.8%(2)	14.3%(6)	61.9%(26)	14.3%(6)

「1~3ヶ月」時点では「あまり効果を感じていない」が13.8%いましたが、「6ヶ月~1年」になるとこの割合が3.2%に大きく減少し、「効果を感じた」が87.1%と最も高くなっています。

AGA治療・FAGA治療で一般的に効果が出始める目安とされる6ヶ月以降に、多くの回答者が明確に効果を実感していることが裏付けられます。

また、「とても効果を感じた」という最上位の実感度を選んだ人の割合は、治療期間の経過とともに緩やかに増加し、「1年以上」の層では14.3%と最も高くなっています。これは、**長期的な継続がより高い満足度につながること**を示唆しています。

一方で、「1ヶ月未満」では、「あまり効果を感じていない」（66.7%）と回答した人が多数派ですが、「とても効果を感じた」（33.3%）という回答もあり、初期は評価が二極化しやすいことが分かります。

1~3ヶ月で62%が抜け毛が減ったことを実感と回答

また、FAGA治療の経過期間（12. 治療開始からどのくらい経過しましたか？）と、実感した効果（14-1. どのような効果を実感しましたか？（複数回答））の相関分析結果は以下の通りです。

Q.治療開始からどのくらい経過しましたか？

Q.どのような効果を実感しましたか？（複数回答）

経過期間	該当者(N)	抜け毛が減った(%)	髪のボリュームが増えた(%)	産毛が生えてきた(%)	髪のコシ・ハリが強くなった(%)	変化を感じなかった(%)	その他(%)

1ヶ月未満	3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
1~3ヶ月	29	62.1	20.7	6.9	10.3	20.7	0.0
3~6ヶ月	37	78.4	32.4	13.5	18.9	5.4	2.7
6ヶ月~1年	31	87.1	35.5	22.6	29.0	3.2	0.0
1年以上	42	78.6	40.5	31.0	38.1	7.1	4.8

注記

※ 「該当者 (N)」は、その経過期間で治療を続けている回答者の合計数（分母）

※ 「変化を感じなかった」という回答は、効果を実感した人とは別に、効果がないと判断した人の割合を示しています。

治療開始後「1~3ヶ月」の時点で、62.1%が「抜け毛が減った」と回答しており、これは最も早く実感される効果です。

「6ヶ月~1年」になるとその割合は87.1%に達し、治療期間が長くなるにつれて、抜け毛抑制効果がほとんどの利用者に定着していることがわかります。

「髪のボリュームが増えた」「産毛が生えてきた」「髪のコシ・ハリが強くなった」といった発毛・育毛系の効果は、「1~3ヶ月」では10~20%台と低い割合ですが、**「1年以上」の層では30%~40%台まで割合が増加**しています。

特に「髪のコシ・ハリが強くなった」は、「1年以上」の層（38.1%）で「1~3ヶ月」の層（10.3%）の約3.7倍となっており、長期的な治療継続によってより実感できる効果であることが強く示唆されます。

「1ヶ月未満」の層では、66.7%が「変化を感じなかった」と回答しており、超初期段階では効果を実感できない人が大半であることが分かります。

しかし、この「変化を感じなかった」という割合は、「6ヶ月~1年」では3.2%にまで大幅に減少し、治療を継続することで効果を実感できる段階に移行していることが明確です。

AGA・FAGA治療における治療持続性の評価と中断要因の分析

AGA治療の継続状況に関する各回答の割合は以下の通りです。この質問は単一回答であり、分母は全回答者数142名として割合を算出しています。

Q.現在もAGA・FAGA治療を続けていますか？

回答	回答数 (N)	割合 (%)
継続して使っている	113	79.6%
途中でやめた	28	19.7
合計	142	100.0

回答者の約8割（80.3%）が「継続して使っている」と回答しており、AGA治療を開始した人の大半が治療を続けていることがわかります。

一方で、約2割（19.7%）の回答者が治療を「途中でやめた」と回答しています。

AGA治療を途中でやめた方（N=28）が挙げた理由の割合は以下の通りです。この質問は複数回答可であり、分母は治療を中止した回答者数28名として割合を算出しています。

【途中でやめた方】やめた理由の割合 (複数回答 N=28)

理由	回答数 (N)	割合 (%)
----	---------	--------

費用が高くて続けられなかった	17	60.7
期待したほど変化がなかった	12	42.9
副作用が出た	10	35.7
通院や手続きが面倒で続かなかった	5	17.9
家族や周囲の人に反対された	2	7.1
その他	2	7.1

最も多かった理由は「費用が高くて続けられなかった」で、治療を中止した人の6割以上（60.7%）を占めています。AGA・FAGA治療が自由診療であるため、継続的な経済的負担が治療断念の最大の要因となっていることが明確にわかります。

AGA・FAGA治療の月額費用

Q.治療にかかる月額の費用は？

費用	回答数	割合 (%)
月5,000円未満	40	28.2%
月5,000円～10,000円	66	46.5%
月10,000円～20,000円	23	16.2%
月20,000円～30,000円	8	5.6%
月30,000円以上	5	3.5%
合計	142	100.0%

最も多い価格帯は「月5,000円～10,000円」で、全体の46.5%を占めており、AGA・FAGA治療の費用としてこのレンジが最も一般的であることがわかります。

「月5,000円未満」の回答も28.2%と多く、約7割の人が月額10,000円未満でAGA・FAGA治療をしていることが分かります（74.7%）。

月額20,000円を超える高価格帯（「月20,000円～30,000円」と「月30,000円以上」の合計）は全体の9.1%に留まっています。

AGA・FAGA治療で利用されているクリニックの割合

クリニック名	回答数	割合 (%)
DMMオンラインクリニック	72	50.7%
クリニックフォア	16	11.3%
AGAスキンクリニック	11	7.7%
湘南AGAクリニック	9	6.3%
イースト駅前クリニック	7	4.9%
レバクリ	6	4.2%

ゴリラクリニック	2	1.4%
銀座総合美容クリニック	2	1.4%
Dクリニック	2	1.4%
その他	13	9.2%
合計（全回答）	142	100.0%

※この集計には、回答数が1のクリニックや、上位10位に入らなかったその他のクリニックも含まれます。

DMMオンラインクリニックが50.7%と、回答者の半数以上が利用しているという圧倒的な結果となりました。これは、オンライン診療の利便性や価格設定などが強く支持されていることを示唆しています。

2位のクリニックフォア（11.3%）や6位のレバクリ（4.2%）など、オンライン診療に強みを持つクリニックが上位にランクインしており、AGA治療の主流な利用形態がオンラインに移行している傾向が見て取れます。

一方で、AGAスキンクリニック（7.7%）や湘南AGAクリニック（6.3%）といった、従来から知名度の高い専門・大手美容クリニックも引き続き一定の支持を得ています。

オンライン診療を受けている人に選ばれているクリニック

AGA・FAGA治療を受けている人のうち、オンライン診療を利用している（または併用している）回答者は109名で、利用しているAGAクリニックを調査しました。

クリニック名	回答数	割合 (%)
DMMオンラインクリニック	68	62.4%
クリニックフォア	16	14.7%
レバクリ	5	4.6%
AGAスキンクリニック	4	3.7%
イースト駅前クリニック	4	3.7%
湘南AGAクリニック	3	2.8%
Dクリニック	1	0.9%
その他	8	7.3%
合計	109	100.0%

※この集計には、回答数が1のクリニックや、上位10位に入らなかったその他のクリニックも含まれます。

オンライン診療を利用している回答者のうち、**62.4%がDMMオンラインクリニックを利用**しており、オンライン診療市場において圧倒的なシェアを占めていることが分かります。

次にクリニックフォア（14.7%）やレバクリ（4.6%）など、オンライン診療に注力しているクリニックが上位を占めています。

一方で、AGAスキンクリニック（3.7%）や湘南AGAクリニック（2.8%）といった、従来対面診療を主としていたクリニックもオンライン診療の選択肢を提供していますが、オンライン特化型のクリニックと比較すると、このセグメントでの利用割合は限定的です。

対面診療を受けている人に選ばれているクリニック

クリニック名	人数 (N)	割合 (%)
AGAスキンクリニック	7	25.0%
湘南AGAクリニック	6	21.4%
その他	5	17.9%
イースト駅前クリニック	3	10.7%
ゴリラクリニック	2	7.1%
銀座総合美容クリニック	2	7.1%
Dクリニック	1	3.6%
Dr.AGAクリニック	1	3.6%
駅前AGAクリニック	1	3.6%
無回答	5	-
合計(有効回答)	28	100.0%

※この集計には、回答数が1のクリニックや、上位10位に入らなかった他のクリニックも含まれます。

※「無回答」の割合は、ここでは全体の割合として含まれていません。

対面診療を選んでいると回答した33名（有効回答28件）のうち、**AGAスキンクリニックが最も多く利用**されており、回答全体の25.0%を占めています。

湘南AGAクリニックも18.2%と利用者が多く、この2つのクリニックで約4割（39.4%）を占めています。

また、「その他」が15.2%と3番目に多いことから、このリストに載っていないクリニックを利用している回答者も一定数いることが分かります。

本データを引用・転載する際は、出典として「出典：育毛剤・発毛剤 利用者実態調査【2026年版】 | ヘアケアクリニック」の明記と下記のリンクのご掲載をお願いします。

<https://haircare-clinic.com/>

